

令和8年度 第2回

進路説明会



西東京市立ひばりが丘中学校

目 次

進路を具体的に決定するにあたって……………	1
-----------------------	---

令和 9 年度都立入試の変更点……………	2
----------------------	---

今後の流れ・日程……………	5
---------------	---

都立高校入試について……………	7
-----------------	---

- | | |
|---------------------------------|----|
| 1 推薦に基づく選抜…………… | 7 |
| 2 学力検査に基づく選抜Ⅰ…………… | 10 |
| 3 学力検査に基づく選抜Ⅱ…………… | 13 |
| 4 インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追検査…………… | 14 |

私立高校入試について……………	15
-----------------	----

- | | |
|-----------------|----|
| 1 推薦入試について…………… | 16 |
| 2 一般入試について…………… | 19 |

その他……………	21
----------	----

資 料……………	22
----------	----

- 都立高校 推薦・一般入試に関わる書類不備について
- 都立高校 検査内容・配点等の変更のある学校について
- 学力検査得点表・学力検査における答案の開示請求書（見本）
- 自己 P R カード（見本）
- チャレンジスクール 志願申告書（見本）
- 文化・スポーツ等特別推薦書（見本）
- 調査書記載事項希望申請書（見本）
- 各種書類作成に伴う氏名・住所確認のお願い（見本）
- 高等学校推薦願(私立)（見本）
- 併願優遇受験願（見本）
- 推薦願(都立)（見本）
- 調査書作成依頼書（見本）

進路を具体的に決定するにあたって

いよいよ進路を具体的に決める時期を迎えました。中学校卒業後のより良い進路を決めるために、詳しく検討していきましょう。

< 進学の場合 > ～自分にあった学校を選びましょう～

- ・ 進学の目的をしっかりと見つと、入学後意欲的に生活を送ることができます。
- ・ 適性を考えて学校を選びましょう。周りに流されることなく、自分の進路であると意識することが大切です。
- ・ 希望する学校についてよく調べ、必ず一度は足を運んでください。学校の雰囲気はもちろん、通学時間、設備、カリキュラム、授業料、卒業後の進路などを知っておきましょう。
- ・ 受験する学校はすべて進学する可能性があるという意識を持ち、第一志望以外の学校についてもよく調べてください。ただし、卒業時に全ての生徒が進路先を得るために、第一志望校に合格した後は、それ以外の学校を受験しないように協力してください。
- ・ 最終決定は本人とご家庭の判断でします。学校の先生はあくまでアドバイザーです。

< 就職の場合 >

就職のみを考えるのか、定時制高校などに通学しながらの就職を考えるのか、検討してください。
(就職はハローワークを通すため早めの相談になります)

< 西東京市立ひばりが丘中学校 第3学年 進路関係 おもな予定 (都立第一次・分割前期入試関連まで) >

9月24日(木)	第1回復習確認テスト
9月18日(金)～10月2日(金)	第2回進路希望調査
10月19日(月)	第2回進路説明会
10月21日(水)～27日(火)	三者面談【私立推薦・併願受験予定校決定、都立推薦・一般受験希望校確認】 個人面接練習開始
10月26日(月)～11月6日(金)	諸活動の記録記載事項希望申請書 配布・説明・提出
10月30日(金)～11月13日(金)	第3回進路希望調査【最終】
11月10日(火)～12日(木)	2学期期末考査
12月中	小論文・作文練習(集団討論練習)
11月27日(金)～4日(金)	三者面談【私立推薦・併願受験校決定、都立推薦・一般受験予定校決定】 管理職との面接練習 推薦願・併願優遇願の提出
12月15日(火)～	都内私立高校入試相談
12月18日(金)～1月18日(月)	都立高校志願者情報入力期間
1月8日(金)～18日(月)	都立高校推薦入試出願 【書類提出期間】
1月22日(金)	都内私立高校推薦入試開始
1月26日(火)・27日(水)	都立高校推薦入試
1月29日(金)～2月4日(木)	都立高校一般入試出願 【書類提出期間】
2月2日(月)～2月3日(火)	都立推薦入試合格発表・手続き
2月10日(水)	都内私立高校一般入試開始
2月21日(土)	都立高校一般入試(一次)
3月2日(月)・3日(火)	都立一次一般入試合格発表・手続き

※インターネットで志願者情報入力

都立高等学校入試の主な変更点

例年、都立高校入試では入試制度に変更があります。このページでは、昨年度以前に変更になったことも含めて、近年変更になった点をお知らせいたします。

※現中学3年生は令和9年度入試になります。

(1) 都立高等学校入学選抜の出願について

推薦に基づく選抜、第一次募集・分割前期募集において、都立全校がインターネットを活用した出願となります。

つきましては以下のような流れで出願を行います。（詳細は本資料8ページ）

①必要書類を各ご家庭で記入、準備をお願いします。

②各ご家庭、または本人がインターネットで出願します。

※必要書類のうち、調査書、自己PRカードは中学校から都立高校へ郵送で提出します。

③手続き完了後、各自で受検票をダウンロード、印刷することになります。

・出願サイト上での志願者情報を入力する入力期間の締切を、最終日の午後5時までとなっています。

※そのほか、出願書類における氏名の表記（漢字等）を統一することができない場合は、中学校側で別記するなどの対応がありますので、お早めにお伝えください。

(2) 定時制・通信制の入試について（令和8年度より変更）

令和8年度入試から、通信制（一橋高校、新宿山吹高校、砂川高校）の入試は前期選抜を実施します。

（出願：1/29～2/4 入試：定時制 2/21 通信制 2/22 発表：3/1）

後期選抜は、定時制3月上旬、通信制4月上旬に行います。

また、定時制の二次募集の願書の取り下げ、再提出はありません。

(3) 都立高校入試の実施方法の変更について（令和8年度より変更）

①分割募集の廃止（第一次募集での選抜）

（日本橋高校、八潮高校、蒲田高校、田園調布高校、深沢高校、竹台高校、大山高校、田柄高校、青井高校、足立新田高校、足立東高校、淵江高校、南葛飾高校、府中東高校、山崎高校、東村山高校、羽村高校、秋留台高校、野津田高校、中野工科高校、練馬工科高校）

*一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校(一般枠)、砂川高校の昼夜間定時制高校でのみ分割募集あり

②通信制過程の入試は、前期選抜と後期選抜の2回

（前期選抜：2月22日 後期選抜：4月上旬）

(4) 推薦に基づく選抜の検査内容について（令和9年度実施予定校）

集団討論の実施予定校は以下の通りです。

・日比谷高校 ・竹早高校 ・鷺宮高校 ・西高校 ・北園高校 ・調布南高校

一般推薦における検査内容は、志願者全員に実施する検査のほか、小論文または作文、実技検査、その他学校が設定する検査のうち、当該都立高校長が定めたいずれか一つ以上の検査により実施されます。

また、文化・スポーツ等特別推薦の基準に、大会の実績や、資格や検定試験等の成績に関わる内容を含めず、「実績等を証明する書類等の写し」の提出も求められません。（第1回進路説明会の資料をご参照ください。）

(5) 合格者の発表について

推薦に基づく選抜、第一次・分割前期募集のほか、第二次募集・分割後期、海外帰国生徒対象の選抜等も受検者自身が選抜の結果を照会することができる合否照会サイト上で、合格者の発表が行われます。

(6) インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する措置について（令和7年より変更）

- ・令和7年度より、「月経随伴症状、痴漢被害等により第一次募集を受験できなかった場合も追検査の対象となることが明記されました。また、新型コロナウイルスというワードは削除され、以下の文章となりました。

第一次募集において、インフルエンザ等に罹患した者、学校保健安全法19条により中学校長が出席停止の措置を行った者及び月経随伴症状、痴漢被害等受験者本人の責めによらず、やむを得ない入院等で、第一次募集で出願した都立高校を受検できなかった者に対して追検査を実施する。

なお、追検査は、第一次募集を実施する都立高校（全日制課程及び定時制課程（島しょの都立高校を含む））において実施する。分割募集を実施する都立高校においては、追検査を実施しない。

※学校長が出席停止の措置をする学校基準

→インフルエンザ・コロナは発症後5日かつ軽快後1日の期間

※追検査出願 3月4日（木）学力検査3月9日（火） 発表3月12日（金）

※追検査に出願した者は、分割後期募集・全日制第二次募集に出願することはできません。

(7) 東京都中学校英語スピーキングテストの結果の活用

東京都中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J)の結果を入学者選抜に活用しています。活用するのは第一次募集・分割前期募集(エンカレッジスクール、チャレンジスクール、英語学力検査を実施しない学校等は対象外)です。A～Fまでの6段階を20点満点に点数化します。

A	B	C	D	E	F
20点	16点	12点	8点	4点	0点

そのため、都立入試の総合得点は学力テスト(700)+調査書(300)+ESAT-J(20)=1020点満点になります。

(一部、600点+400点+20点の学校もあります)

- ・スピーキングテスト不受験者に対する措置について

これまで、スピーキングテストを受験できなかった場合、グローバル人材育成部国際教育企画課国際教育推進担当に申請します。

※スピーキングテスト不受験者のうち、ア、実施日にインフルエンザ等に罹患した者、学校保健安全法19条により中学校長が出席停止の措置を行った者、及び受験者本人の責めによらずやむを得ない理由（病気で入院、交通事故により負傷等）により受験できなかった者は仮のスピーキングテスト結果を算出し、都立入試において不利にならないように取り扱います。

(8) 島しょの都立高校への応募資格

都外に住んでいて、保護者が父母の場合、入学までに父母の両方が都内に転居することが必要ですが、島しょの都立高校受験に限り、父母どちらか一方が転居すれば受検ができることになりました。

(9) 文化スポーツ等特別推薦について

文化スポーツ等特別推薦は、実施する学校と実施しない学校があります。

また、募集人員は、一般推薦の募集人員に含まれます。検査は、個人面接または集団面接及び実技検査を実施します。作文などその他の検査を実施する場合は、各学校で内容を定めます。

(10) 自己PRカードの取扱いについて

令和8年度より、推薦選抜など面接を実施する都立高校に出願する場合のみ提出となっています。

(11) 理数等特別推薦について

一般推薦、文化スポーツ等特別推薦に加え、理数等特別推薦が、都立立川高校（創造理数科）、科学技術高校（創造理数科）において実施されます。検査内容は、科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問、面接及び小論文です。この選抜方法は通常の推薦選抜とは異なる方法で定員内でも合格とならないこともあります。また、文化スポーツ等特別推薦は一般推薦も受検(併願)できますが、理数等特別推薦を受検する場合、一般推薦を受検(併願)することはできません。

(12) 性同一性障害等の受検者の取り扱い

性同一性障害等の理由により、戸籍上の性別とは別の性で受検を希望する者に関しては、教育委員会で協議し、個別に決定をします。

(13) 学力検査問題が自校作成の高校

国数英＝自校作成問題、理社＝都立共通問題 で入試を行います

・日比谷 ・戸山 ・青山 ・西 ・八王子東 ・立川 ・国立 ・新宿 ・墨田川 ・国分寺

※国際高校については、英語の学力検査のみを自校で作成。

(14) 令和7年度より募集停止の高校

令和7年度募集停止 立川高校定時制課程（普通科）

(15) 受入環境充実校の設置

令和8年度 深沢高校（全日制・単位制・普通科）

令和9年度 北園高校、武蔵野北高校

学力検査の得点と調査書点の比率について7:3と10:0の両方の方法で算出し、どちらか高い方を本人の得点とし、選抜します。

(16) 在京外国人生徒等対象の選抜

- ・全日制課程では竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、六郷工科高校、杉並総合高校、国際高校、定時制課程では一橋高校、浅草高校、荻窪高校及び砂川高校で実施します。
- ・国籍を問わず、日本語指導が必要な生徒等に対する配慮の申請ができます。

今後の流れ・日程の詳細

●10月 第2回三者面談	10月21日(水) ～27日(火)	・私立の推薦試験や併願優遇など事前相談を必要とする受験を考えている場合は必ず申し出てください。必ず家庭で話し合っておいてください。
諸活動の記録記載 事項希望申請書	10月26日(月) 配布 11月6日(金) 提出〆切(厳守)	「諸活動の記録記載事項希望申請書」を記入し、担任に提出してください。 ※捺印は朱肉を用いてください。 スタンプ印(シャチハタ等)は使えません。
●11月 期末考査	11月10日(火) ～12日(木)	
第3回 進路希望調査	10月30日(金) 配布 11月13日(金) 提出〆切(厳守)	・最後の希望調査です。生徒本人とご家庭の希望を担当が最終確認します。 ・私立の推薦試験や併願優遇など、12月15日からの「入試相談」を必要とする受験の有無など、受験パターンの最終希望を書いて下さい。変更があった場合は速やかに申し出て下さい。
ESAT-J	11月22日(日)	集合 各自確認してください。 場所 10月下旬から保護者・生徒用各マイページから受験会場の情報を確認することができる予定 ※事前に受験票などの印刷の必要があります。
校長先生・副校長先生の個人面接練習	11月27日(金)～ (三者面談と並行して行う予定)	・順次個人面接練習を行います。
自己PRカードの書き方の練習開始	11月後半～	・都立推薦受験者を中心に「自己PRカード」の書き方の練習をします。「本校の期待する生徒の姿」が各教室にあるので、参照して記入します。(東京都教育委員会のHPにも掲載されています)
進路判定会議	11月25日(水)	・最後の三者面談と高校入試相談に向けて、3年生全員の進路希望について学年教員で検討します。
小論文・作文練習	11月～	・都立推薦入試を受ける生徒や検査内容に作文等を含む生徒を対象に、小論文または作文、の練習を行います。
12月 第3回三者面談 (最終)	11月27日(金) ～12月4日(金)	・最後の三者面談です。受験(検)校の決定と受験パターンの最終決定をします。1・2学期の内申の見込みで相談します。 ・関係する生徒には「 推薦願 」「 併願優遇願 」をお渡しします。 記入し、面談翌日に提出してください。(厳守) ・「 調査書作成願 」を、面談中にお渡しします。

		この三者面談で最終決定した受験（検）校の調査書の形態、期日等を記入する用紙です。こちらの提出をもって、担任が各校の調査書を期日までに用意します。
調査書作成願	12月7日（月） ×切（厳守） * 入試相談準備の関係上、厳守でお願いします。	・ 私立、国立、高専の志望校の入学願書等を各自分で入手し、受験校すべてについて「調査書作成願」に記入の上、高校専用の調査書、推薦書があれば、「調査書作成願」の封筒に入れ、担任に提出します。（入学願書は本人が記入します。ただし、保護者の方も記入内容の確認をしてください。） ※近年インターネット出願の学校が増えています。その場合は、基本的に願書等を担任に提出する必要はありません。
都内私立高校 入試相談	12月15日（火）～	・ 中学校から各私立高校へ推薦、第1志望、併願優遇受験者の名簿と成績を提出し、受験の相談をします。
1月・2月 「調査書記載事項 通知書」	1月初旬	・ 高校に提出する調査書の記載内容を保護者の方に通知する書類です。（<u>ひばり中より厳封し親展扱いで生徒から保護者の方へ渡されます。生徒が直接開封することは禁止です。</u>）
出願 入学選抜試験 発表・入学手続き ⇒進路決定	★都立推薦入試関係 出願1月8日(金) ～18日(月) 入試1月26日(火) 1月27日(水) 発表2月2日(火) ★都立一般入試関係 出願1月29日(金) ～2月4日(木) 取り下げ10日(水) 再提出12日(金) 入試2月21日(日) 発表3月1日(月) ★私立推薦入試関係 出願1月15日(金)～ 試験1月22日(金)～ ★私立一般 出願1月25日(土)～ 試験2月10日(水)～	・ 私立高校は、高校により出願や手続きが異なります。 ・ インターネット出願をした場合も、必ず担任に報告してください。 ・ 推薦入試は、私立も都立も合格したら辞退(他の学校を受験)はできません。 ・ 都立「自己PRカード」は、推薦受検者と（一般でも）面接のある高校を受検する生徒は出願時に提出します。 ・ 私立併願優遇制度を利用する生徒は、延納手続きが必要になる場合が多いので、くれぐれも忘れないようにしてください。
学年末考査	2月24～25日	・ 入学後の高校へ3年の学年成績として送付されます。クラス分け資料などにも使われます。

※ご家庭にご提出いただく書類等については、追って進路だより等で詳しくお知らせします。

※期日を守って提出するようお願いいたします。

都立高校入試について

* 詳細は 11 月上旬配布予定の「東京都立高等学校等募集案内」で公表されます

1、推薦に基づく選抜（一般推薦、文化・スポーツ等特別推薦、理数等特別推薦）

【日程】	出願	入試	発表	入学手続き
	1/8(金)～18(月) インターネットで出願(入力は 12 月 18 日から、書類提出は 1 月 8 日から 1 月 18 日まで)	1/26 (火)・27(水)	2/2(火) HP 8 : 3 0 掲示 9 : 3 0	2/2(火) 9 : 30～15 : 30 3(水) 9 : 00～12 : 00 ※受検番号により指定される場合があります

(1) 推薦等に基づく選抜の目的

①一般推薦	基礎的な学力を前提に、思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力や、自分の考えを相手に的確に伝えるとともに、相手の考えを的確に捉え人間関係を構築するためのコミュニケーション能力など、これからの社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。
②文化・スポーツ等特別推薦	各都立高校の個性化・特色化を推進するため、卓越した能力をもつ生徒の力を評価し、選抜する。
③理数等特別推薦 立川高校 科学技術高校 創造理数科で実施	科学技術の根底にある理数系分野の素養を前提に、探求の過程を通して課題を解決する力や、他者の考えから自分の考えを深めるとともに、新しい価値を生み出す創造性など、変化し続ける社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜を行う。

※ 同一の都立校であれば①一般推薦と②文化スポーツ等特別推薦の両方を受検することができます。（ただし、それぞれの出願に入学考査料が必要となります。）

※③理数等特別推薦を受検した場合①一般推薦を受検することはできません。

①か③のどちらかのみを受検となります。

(2) 応募資格

① **志願する都立高校を第一志望とする者。**

② 令和 9 年 3 月に都内の中学校を卒業する見込みの者。

③ 推薦に志願する意思があり、在学している中学校の校長の推薦を受けた者。

④ 保護者と同居している者で、令和 8 年 12 月 31 日に都内に住所（＝住民票）を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者。

⑤ 文化・スポーツ等特別推薦は上記①～④に加え、高校が指定する基準を満たしている者。

* その他、保護者と本人が同居していない、など様々なケースについての規定がありますので、不明なことがありましたら、早めに担任または進路担当までご相談ください。

(3) 推薦者決定までの手順

① 推薦受検を希望する際、以下の項目に該当しているか十分に考慮、判断してください。

※志望動機・選択理由が、各都立高校の出している「本校の期待する生徒の姿」に適している。

(例) ・学習する内容を、将来の進路に生かそうと考えている。

・希望する学科やコースに、適性、興味、関心がある。

- ② 推薦入試希望にあたり、推薦受検者としての心構え・約束事を含む「推薦願」を保護者・本人から提出していただきます。
- ③ 申請に基づき、校内の推薦委員会で協議を行います。
- ④ 校内協議を経て、校長が推薦を決定します。

(4) 出願の手続きについて

出願に関しては、インターネット出願への変更に伴い、以前お渡ししていた入学願書や入学考査料納付書等は、お渡ししていません。以下の手順に沿って、出願準備並びに出願をするようよろしくお願いします。

< 出願の前にご家庭で記入し、中学校に提出するもの >

1. 「推薦願」…三者面談で受け取り、面談翌日までに担任に提出し、推薦書の作成を依頼してください。(即日発行はできません)
2. 「自己PRカード」…試験で面接がある場合のみ提出。清書は黒のペンで記入または、PCで各自入力・印刷して担任に提出します。

各都立高校から出される「本校の期待する生徒の姿」を参考にして本人が書きます。

< 出願の方法 >

インターネット出願について

インターネット出願となっています。

詳細は後日配布する別紙をお待ちください。現段階での情報になります。
別紙が配布されたら、再度説明します。

<手続きの手順>

- ①出願サイトのユーザーID取得……志願先の都立高校の出願サイトにアクセスしIDを登録します。
- ②出願サイト上で入力……志願者氏名、生年月日、中学校名、保護者氏名、現住所等を入力します。
顔写真データも登録します。(住所、氏名の漢字にご注意ください)
* 顔写真は注意事項をよく確認したうえで登録をお願いします。
- ③入力内容を中学校に確認依頼
- ④入力内容の承認……中学校が中学校用の管理サイトを通じ確認し、承認登録を行います。
- ⑤考査料の納付……承認を受けたら、考査料の支払いが可能となります。
出願サイト上の決済又は納付書で支払います。
納付書で支払った場合は領収書の写真をアップロードします。
納付書が必要な場合は、担任の先生から受け取ってください。

- ⑥出願申請完了……その他出願に要する書類の送付は中学校が行い、受理されたら出願完了です。
- ⑦受検票印刷……出願受付処理をされたら受検票が発行されます。各ご家庭で出力、印刷を行います。
印刷は、コンビニエンスストアでも可能です。
- ⑧中学校へ報告……受検票を印刷したこと、受検番号を担当の先生に報告します。

<手続きの詳細について>

- ① **入学考査料**：2,200 円(クレジットカードで支払いまたは納付用紙で払い込み、領収書の画像を出願時にアップロード)
- ② **調査書、推薦書**：(中学校が受検する高等学校長宛に作成します。)
中学校で作成し、自己PRカードと共に中学校から高校に送ります。
- ③ **個人情報提供に関する同意著名欄 チェックのお願い**
これは、中学校へ送られてくる「選抜用評定等確認表」に記載されている生徒個人の入試得点の中学校への開示の同意をお願いするものです。願書に記載されているようにひばりが丘中学校での今後の大切な進路指導や学習指導の資料として、個人情報の秘密を厳守し、これ以外の目的には一切使用しないものです。インターネット出願のときにチェックボックスにチェックを入れます。

(5) 選考方法

- ①「**調査書**」、「**個人面接**」、「**小論文または作文**」・「**実技検査**」・「**学校が設定する検査**」の**中から 1 つ以上**、入学願書による志望および都立高校長が必要とする資料（自己PRカードを含む）を用いて、総合的に判断して行われます。
- ② 調査書は「各教科の観点別学習状況の評価」（全 27 観点）又は評定（9 教科）のどちらか一つを調査書点として点数化されます。（自己PRカードは点数化しません。）
- ③ 一部の高校では個人面接で**パーソナルプレゼンテーション**や**自己PRタイム**を実施します。そのための事前に準備が必要です。

(6) 合格者の発表と手続き書類の受け取り

インターネットで確認、または受検した都立高校に行き本人が確認を行います。手続きの時間は受験番号によって都立高校から指定される場合があります。手続きに行く場合はできるだけ保護者の方と一緒に行ってください。主な入学書類関係の提出は、一般入試が終わってからが多いので、必ず保護者の方も書類の内容に目を通して、手続きの確認をしてください。

(7) 入学手続き

「**入学確約書**」を入学手続き期間に提出しないと入学する意志がないものと見なされ、合格を取り消されます。また、入学金（全日制 5,650 円、定時制 2,100 円）を合格発表の翌日から 5 日以内に振り込まないと合格が取り消されます。できるだけ保護者の方と確認しながら行ってください。

(8) 推薦入試の留意事項

- ① 第一志望である(合格したら入学する)ことが条件です。
- ② 合格した場合は原則他の全ての高等学校(高専も含め)の受験(検)ができません。
- ③ 一般推薦はほとんどの高校で行われますが、特別推薦は限られています。
特別推薦の基準は高校ごとに違いますので、実施する校名、種目、募集人数、実績条件、実技検査の内容等よく調べましょう。
- ④ 推薦では一度出願すると他の高校への**志願変更はできません**。
- ⑤ 例年、一般推薦は倍率が高く、学力検査に基づく選抜(一般受検)よりも合格することがかなり厳しいようです。「一般受検(学力検査)が不安だからダメでもともと、推薦受検を受けてみる」という軽はずみな考えで受検するのは控えましょう。個人面接や小論文対策に時間が割かれ、推薦入試の結果次第で、一般受検で実力を出し切れなくなってしまうことになりかねません。

(9) 文化・スポーツ等特別推薦の種類

- 文化関係：吹奏楽・美術・英語・合唱・演劇・理科学研究等
- スポーツ関係：サッカー・硬式野球・バスケットボール・バレーボール・陸上競技・水泳等
- ※ 成績関係の基準と大きな大会での実績や英検等の資格基準など、各校がそれぞれの基準を設定しています。
- ※ 大会の成績を証明する賞状や資格認定証などは必要ありません。
- ※ 文化・スポーツ等特別推薦書は中学校が準備します。

2、学力検査に基づく選抜Ⅰ(第一次募集)

出願	入試	発表	入学手続き
1/29(金)～2/4(木) インターネットによる出願 入力期間 12月18日～2月4日 書類提出期間 1月29日～2月4日まで ※願書取り下げ 2/10(水)9:00～15:00 願書再提出 2/12(金)9:00～12:00	2/21(日) 8:30～	3/1(月) HP 8:30～ 掲示 9:30～	3/1(月) 9:30～15:30 ・2(火) 9:00～12:00 定時制は両日 16:00～20:00 ※受検番号により時間が指定される場合があります。

(1) 応募資格

【全日制高校の場合】

保護者と同居している者で、都内に住所(=住民票)を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者。

【定時制高校の場合】

入学日までに都内に住所または勤務先を有することが確実で、入学後も引き続き都内に住所または勤務先を有することが確実な者。(都外に転居しても、勤務先が都内にあれば応募できます)

*その他、保護者と本人が同居していない、など様々なケースについての規定がありますので、不明なことがありましたら、早めに担任までご相談ください。

(2) 出願上の留意事項

- ① 都立高校の推薦入試の合格者となった者は出願できません。
- ② (一般受検に先立って行われる) **都立高等専門学校の選抜の合格者**となった者は、第一次募集・分割前期募集に出願していても**受検を認められません。**
- ③ 1校に限り出願することができます。ただし、同一の都立高校内にある同一の学科内に、2科(2分野)以上ある場合は、**志望順位をつけて出願**することができます。(これは複雑なので具体的に受検校が決まってから相談しましょう。)
※立川高校の創造理数科を第1志望とする人は、同校の普通科を第2志望とすることができます。科学技術高校の創造理数科を第1志望とする人は、同校の科学技術科を第2志望とすることができます。
- ④ 応募倍率を見て、願書提出後、出願した高校から願書を取下げ、他の高校に**1回だけ志願変更**ができます。ただし、一度取り下げた高校には再び出願はできません。
- ⑤ 第一志望が国立高校、私立高校の場合に、日程の関係で都立高校にも願書を出しておくことがあります。このような場合、**第一志望校に合格したら、都立高校の受検は控えるようにご協力をお願いします。**

(3) 出願の手順

< 手続きについて >

P.7 推薦に基づく選抜の項目と同じとなります。

< その他 >

- ① **自己PRカード**(面接実施校の志願者のみ資料として中学校が郵送します。)
各都立高校から出される「本校の期待する生徒の姿」を参考にして本人が書きます。
※定時制は必ず全員提出します。
- ② **志願申告書**：六本木、大江戸、世田谷泉、桐ヶ丘、稔ヶ丘、八王子拓真(チャレンジ枠)、立川緑
昼夜間定時制のチャレンジスクールは自己PRカードではなく「志願申告書」を書きます。東
京都教育委員会のホームページからダウンロードできます。
- ③ **自己申告書**：必要な場合のみ、本人及び保護者が作成します。
病気などで欠席が多い等の事情を説明するための書類です。

(4) 志願変更

入学願書提出(=出願)後、表の○を付した変更について、**1回に限り志願変更**をすることができます。

- ※ 出願を取り下げた都立高校の同一の科には再提出することはできません。
- ※ 同一の都立高校内にある同一学科内の科(分野)への志望順位の変更はできません。
- ※ 全日制から定時制への志願変更はできません。
- ※ 志願変更をする場合は、必ず担任に相談してください。

第一次募集・分割前期募集

再提出 取下げ		全日制	定 時 制		
			定時制単位制		定時制 単位制以外
			◆チャレンジスクール ◆八王子拓真(チャレンジ 枠)及びグループA	◆グループB	
全 日 制		○	×	×	×
定 時 制	定 時 制 単 位 制	○	○	×	×
	◆グループB	×	×	×	×
	定時制単位制以外	×	×	×	×

※チャレンジスクール…六本木、大江戸、世田谷泉、稔ヶ丘、桐ヶ丘、小台橋 立川緑

※グループA…一橋、浅草、荻窪、八王子拓真(一般枠)、砂川

※グループB…新宿山吹、六郷工科、飛鳥、板橋有徳、青梅総合、東久留米総合

(5) 学力検査

- ① ほとんどの都立高校は**5教科**ですが、学校によっては3教科の学校もあります。

【時間割】5教科の例(教科順は決まっています)

	開始 ～ 終了	時 間	実施教科
集 合	8:30		
第1時限	9:00 ～ 9:50	50分	国 語
第2時限	10:10 ～ 11:00	50分	数 学
第3時限	11:20 ～ 12:10	50分	英 語
第4時限	13:10 ～ 14:00	50分	社 会
第5時限	14:20 ～ 15:10	50分	理 科

※ 英語は最初の約10分間のリスニングテストが実施されます。

※ **共通問題による学力検査を実施する全ての高校で「マークシート方式」による入試を実施します。**

※ 当日以降に**集団及び個人面接・実技検査等**を実施する学校もあります。

※ 国際高校及びエンカレッジスクールに指定された都立高校の時間割は、各都立高校が定めます。

- ② エンカレッジスクールやチャレンジスクール(チャレンジ枠)、一部の定時制都立高校などでは、学力検査を実施しないで面接や小論文または作文等で選抜を行います。
- ③ 自分の受検校の集合時間、教科数、配点(満点)、自校作成かどうか、集団面接・個人面接や実技検査の有無、得点と調査書点の比率(7:3、一部 6:4)を十分に確認し、しっかり準備しましょう。
- ④ 各課程の学力検査について

【全日制課程】

募集区分	学力検査の教科	学力検査の得点と調査書点の比率
第一次募集	5教科（国数英社理）	7：3
芸術科（総合芸術高校） 体育科（駒場、野津田高校）	3教科 ＋実技検査	6：4
深沢・北園・武蔵野北高校		7：3と10：0の高い方

【定時制課程・昼夜間定時制課程】

募集区分	学力検査の教科	学力検査の得点と調査書点の比率
第一次募集	5教科（国数英社理）の 中から3教科以上	7：3又は6：4 （各学校で選択）

⑤ 傾斜配点について

設置目的用に応じて特別な教育課程を実施している高校のうち、必要と認められる学校に限定して実施します。

【実施校】○普通科（コース制）：深川、松が谷、小平

○専門学科：国際、科学技術、多摩科学技術、大田桜台、千早

（6）合格者の発表と手続き書類の受け取り

〕 P.9 推薦に基づく選抜(6)(7)と同じ

（7）入学手続き

3、学力検査に基づく選抜Ⅱ（分割後期募集・第二次募集）

【日程】	出願	入試	発表	入学手続き
	3/4（木） 9:00～15:00 <u>各校に持参（インターネットではない）</u> ※願書取り下げ 3/5（金）9:00～15:00 願書再提出 3/8（月）9:00～12:00	3/9（火） 8:30～	3/12（金） 8:30（サイト上） 12:00（掲示）	3/12（金）12:00～15:00 ・15（月）9:00～12:00

この後、定時制二次募集が行われます。（3/25出願 3/26入試 3/29発表）

定時制二次募集の取り下げ、再提出はありません。

※願書は中学校から配布します。必要事項を記入の上、学校の公印を押し受検校に直接持参します。

（1）第二次募集とは

第一次募集で定員に満たなかった都立高校が行います

（2）応募資格

第一次募集と同様ですが、「推薦、第一次募集で都立高校（高専を含め）、国立高校、私立高校に入学手続きを終えた人は出願を遠慮すること」と決められています。

(3) 第二次募集の留意事項

二次募集はどの都立高校が実施するのか分かりません。東京都教育委員会ホームページ、新聞等に掲載されます。なお、出願は本人が直接高校に行きます。

(4) 選考方法

二次募集は、国語・数学・英語の3教科の学科試験を原則として、面接等については各学校が定めます。(エンカレッジスクールに指定された都立高校と定時制の一部の都立高校においては、学力検査を実施しません。)

【時間割】(エンカレッジスクール・定時制は各高校で時間割を定める)

	開始 ～ 終了	時 間	実施教科
集 合	8:30		
第1時限	9:00 ～ 9:50	50分	国 語
第2時限	10:10 ～ 11:00	50分	数 学
第3時限	11:20 ～ 12:10	50分	英 語

4. インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追検査

第一次募集において、インフルエンザ等に罹患した人、学校保健安全法19条により中学校長が出席停止の措置を行った者及び月経随伴症状、痴漢被害等受験者本人の責めによらず、やむを得ない入院等で、第一次募集で出願した都立高校を受験できなかった者に対して、追検査が実施されます。※分割募集を実施する都立高校においては、追検査は実施されません。

【日程】	出願	入試	発表	入学手続き
	3/4(木)	3/9(火)	3/12(金)	3/12(金) ・ 3/15(月)
	9:00～15:00		8:30(サイト) 12:00(掲示)	12:00～15:00 9:00～12:00

学力検査の時間

【時間割】(エンカレッジスクール・定時制は各高校で時間割を定める)

	開始 ～ 終了	時 間	実施教科
集 合	8:30		
第1時限	9:00 ～ 9:50	50分	国 語
第2時限	10:10 ～ 11:00	50分	数 学
第3時限	11:20 ～ 12:10	50分	英 語

5. その他

- ・入試当日に、原則携帯電話、スマートフォンは持ち込まないことが基本です。万が一持ち込む場合は、各東京都立高等学校の支持に従ってください。従わない場合、不正行為と判断されます。
- ・時計は、時計機能以外の機能を備えているものは持ち込み出来ません。

私立高校入試について

私立高校は、都内・他県、学区の区別なく、どこでも受験することができます。募集要項や願書など、出願に必要な書類はご家庭で入手してください。

《私立高校の選抜の種類》

高校ごとにさまざまな名称の推薦制度や優遇制度があります。以下では一般的な制度について説明しますが、高校ごとに異なるので必ず募集要項で確認してください。募集要項を見てもよく分からない場合は、先生に相談してください。

(1) 推薦入試

推薦（一般推薦）

その学校を第一志望とする場合だけ利用できる制度なので、合格したら必ず進学することが条件です。高校ごとに決められている成績や出席日数等の推薦基準を満たしている者が受験できます。調査書、面接、作文等で合格者を決めますが、適性検査（学力テスト）を実施する学校もあります。

スポーツなどの推薦（セレクション）

早い時期から行われる選考（技能検査・セレクション）に合格すると受験資格が得られます。かなり高い技能を要求されます。成績も含め、入学後の活動条件が様々あるようです。学校外のクラブチーム等からのスポーツ推薦については、クラブチームの監督と高校の部活動の顧問（監督）との間で交渉があるので、その交渉が成立した場合に担任へ連絡をください。中学校側（担任）と高校の部活動の顧問と連絡、手続きを進めていきます。クラブチームから私立高校のスポーツ推薦で高校に合格した生徒も校長の承認を経ている以上、ひばり中の推薦生徒と同様の対応をしていきます。くれぐれも合格後も生活全般において気を引き締めて過ごしてください。

※スポーツなどの推薦においても、学校の成績が推薦基準に含まれる場合があるので確認しておきましょう。

推薦入試では次の2つのタイプがあります。自分が受験する学校をよく調べておきましょう。

< 推薦を受験すると合格の可能性が高い学校 >

決められた基準を満たしていれば、合格できる可能性が高い学校です。

< 推薦基準が出願基準である学校 >

基準は推薦試験の出願資格を与えるだけで、事前に合格の可能性もわかりません。当日の適性検査の結果によって合否が決まり、不合格者が多数出ることが予想されます。不合格者に対して再度一般受験をした場合、優遇される学校もあります。

(2) 一般入試

① 第一志望

その学校を第一志望とする場合だけ利用できる制度なので、推薦と同様に合格したら必ず進学することが条件です。高校ごとに決められている成績や出席日数等の出願基準を満たしている者が受験できます。得点面での優遇があるため合格しやすくなりますが、必ず合格できるとは限りません。

② 併願優遇（第二志望優遇）

その高校を第二志望とする場合だけ利用できる制度です。多くの場合、第一志望が都立の場合に利用できますが、第一志望が私立でも利用できる高校もあります。また、公立と私立の両方の併願が可能な高校もありますので、面談や説明会等で確認してください。

高校ごとに決められている成績や出席日数等の出願基準に合っている者だけが受験できます。得点面での優遇があるため合格しやすくなりますが、必ず合格できるとは限りません。

通常、公立併願の場合、都立高校の一次募集・分割前期募集の発表まで入学手続き（入学金等の支払い）を待ってくれますが、延納の手続きや入学金の一部納入が必要な高校もあります。必ず募集要項で確認してください。

③ フリー受験

通常、成績等の基準はありません。①～②の制度を利用しない方法で、当日の試験の点数で決まります。

①や②の制度がなく、③だけの高校、逆に①や②の制度を利用しないと合格が難しい高校などさまざまです。希望する私立高校がどのような制度で受験できるか自分でよく調べ、担任に申し出てください。

《入試相談（都内私立高校）》

推薦入試、第一志望、併願優遇の制度を利用するための、中学校と私立高校の教員間の相談です。入試相談は **12月15日から**行われ、それぞれの高校で期間が決まっています。（通常1～3日間）

入試相談では中学校教員が、希望する入試形態（推薦、第一志望、併願優遇など）の合格の可能性を相談し、受験予定者の書類提出などを行います。相談の結果は本人（ご家庭）に連絡します。

推薦入試、第一志望、併願優遇の制度を利用する場合は、10月21日（水）～10月27日（火）に予定している三者面談でご相談ください。成績や出席日数等の基準の確認をします。

第3回進路希望調査では希望の最終確認をします。推薦等の制度を利用したい場合は、必ず第2回の三者面談で申し出てください。（事前に家庭で十分に話し合い、面談がスムーズに進むようお願いします。）

埼玉県の私立高校に関しては、入試相談は中学校ではなく各家庭が行います。

1、推薦入試について

(1) 推薦条件

- ① 本校の校長の推薦を受けること。
- ② 成績基準をクリアしていること。
 - ・ 通常は3年12月末時の1、2学期の総合成績についての基準です。

- ・基準は3科計、5科計、9科計など高校によって様々です。
- ・英検、数検、漢検などの資格も成績に考慮される学校もあります。
- ・基準については中学校の教員だけに伝えられる内容もあるので、担任と相談して下さい。

③ その他、高校の示す条件をクリアしていること。

(例：生活指導上問題がない、遅刻回数、欠席日数、校則の遵守など。)

(2) 推薦者決定までの手順

- ① 推薦入試を希望する際、以下の項目に該当しているか十分に考慮・判断してください。

※ 志望動機、選択理由が適正である。

- ・学習する内容を、将来の進路に生かそうと考えている。
- ・希望する学科やコースに、適性、興味、関心がある。

※ 日常生活の中で、法に触れるような行為や繰り返し指導を受けるような行為がない。

- ② 推薦入試希望にあたり、推薦受験者としての心構え・約束事に関する推薦願を三者面談時に保護者・本人から提出していただきます。
- ③ 申請に基づき、校内推薦委員会で協議を行います。
- ④ 校内協議を経て、校長が推薦を決定します。

(3) 出願

- ① 出願に必要な書類や、受験料の納付方法は募集要項に書かれています。
(最近では、インターネット出願がとて増えているので注意してください)
- ② 書類は保護者・本人の責任で用意してください。
- ③ 中学校で作成する調査書や推薦書など、指定の用紙がある場合は、「調査書作成願い」の封筒に入れて担任に提出してください。中学校で作成し、封(緘)をして出願に合わせて本人に渡します。「高等学校長宛の親展扱い」なので、開封したものは出願に使えなくなってしまう。
絶対に開封しないでください。

募集要項に「公立用調査書でもよい」と書かれている場合、都立高校入試と同じ形式の用紙を使うので、調査書用紙を提出する必要はありません。

(4) 試験

- ① 多くの高校は面接と作文(小論文)で入試を行います。適性検査という名称の学科試験を行う高校もあります。
- ② 面接はとても重要視されます。特に生活指導上問題ありと判定された場合は不合格となる場合があります。服装、言葉遣い、礼儀作法は日頃からきちんとできるように心がけましょう。
- ③ 面接で聞かれる内容は、前年の例などで十分に研究しておきましょう。志望理由・入学後の目標はどの学校でも聞かれるようです。高校の教育方針等についても十分確認しておきましょう。
- ④ 面接試験の形式は、個人形式、グループ形式、親子同伴など様々です。

(5) 合格発表

発表日、発表方法（インターネット、校内掲示・手渡し、郵送など）や発表日時は学校によって異なります。受験する学校の募集要項をよく確認しておきましょう。

(6) 入学手続き

手続き期間、費用の納入の事など家庭でよく相談し、手違いのないように準備しておきましょう。

手続き期間中に手続きを完了しないと、合格は取り消されます。

(7) スポーツなどの推薦についての留意事項

高校からの、本校部活動への照会によるスポーツなどの推薦は、顧問・学年で対応します。顧問とよく相談して担任に伝えましょう。中学校で必要な書類を作成しますので、大会等の実績や結果の報告をしてください。

2、一般入試について

(1) 受験校決定までの手順

- ① 第一志望受験や、併願優遇受験の制度を利用したい場合は、三者面談で配布する推薦受験と同様の**確認書**を提出してもらいます。入試相談で高校側の了解があれば受験できます。
- ② 上記の制度を利用しない受験の場合は、入試相談を通す必要はありません。
事前に十分に担任と相談してください。

(2) 出願

- ① 出願に必要な書類や、受験料の納付方法は**募集要項**に書かれています。
- ② 書類は保護者・本人の責任で用意してください。
- ③ 中学校で作成する**調査書**など、**指定の用紙がある場合は**、「調査書作成願い」の封筒に入れて担任に提出してください。中学校で作成し、封（緘）をして出願に合わせて本人に渡します。「**高等学校長宛の親展扱い**」なので、開封したものは出願に使えなくなってしまう。絶対に**開封しないでください**。
募集要項に「公立用調査書でもよい」と書かれている場合、都立高校入試と同じ形式の用紙を使うので、調査書用紙を提出する必要はありません。

(3) 試験

- ① ほとんどの高校は**面接と学科試験（国数英）**を行います。
- ② **面接**をととても**重要視**する高校が多いです。（推薦試験と同様）
- ③ **面接で聞かれる内容**は、前年の例などで十分に研究しておきましょう。**志望理由・入学後の目標**はどの学校でも聞かれるようです。高校の教育方針等についても十分確認しておきましょう。
- ④ 面接試験の形式は、個人形式、グループ形式、親子同伴など様々です。

(4) 合格発表

発表日、発表方法（インターネット、校内掲示・手渡し、郵送など）は学校によって異なりますが、早い学校では当日や翌日発表の学校もあります。受験する学校の募集要項をよく確認しておきましょう。

(5) 入学手続き

手続き期間、費用の納入の事など家庭でよく相談し、手違いのないように準備しておきましょう。
手続き期間中に手続きを完了しないと、合格は取り消されます。

(6) 併願優遇受験についての留意事項

- ① 入学手続きを待ってもらえる期限（多くの学校では都立高校の一次募集・前期募集の合格発表まで）を募集要項で確認してください。
- ② 第一志望として受けられる学校（都立高校だけなど）の制限を募集要項で確認してください。
- ③ 必要な延納手続きを期限内に行わないと、合格が取り消される高校があります。
- ④ 入試相談で併願優遇を申し込んだ場合で、都立推薦に合格した場合は出願しなくてよい高校、都立推薦に合格していても出願だけはしなければいけない高校があります。詳細は入試要項で確認してください。
- ⑤ 併願優遇で合格した私立は第一希望が不合格だった場合、必ず進学することが条件になっていることが多いです。併願優遇を使って受検する場合は不合格となった時にどうするのかを担当の先生と確実に決めておきましょう。

私立高校入試の流れ

★は中学校の教員が行う内容です。参考に掲載します。

家庭で希望する受験方法の検討（推薦 or 第一志望 or 併願優遇 等）



10月21日～10月27日 第2回 三者面談

具体的な受験校や推薦、併願優遇等のシステムを使用するかを相談します。

この時、具体的な受験校のパターンが3種類(成績が1学期に比べて①上がる、②そのまま、③下がる)決まっていることが理想です。十分な話し合いのもと面談にお越しくください。



★校内推薦委員会 3学年の生徒全員に対して、推薦の可否を検討する会議が校内で行われます。



11月27日～12月4日 最終 三者面談（受験・受検する上級学校、就職希望などの確認）

最終的な受験校や推薦、併願優遇等のシステムを使用するかを相談します。

10月に決定した受験パターンの中でどれにするかを確認します。

「推薦願・併願優遇願」等の提出（第3回の三者面談でお渡しします）

推薦、一般第一志望での受験希望者は合格した場合、必ずその学校に進学すること。また、都立私立問わず、他の学校を受験しないことを承諾する「推薦願」を提出していただきます。

また、併願優遇での受験希望者は合格した場合、第一志望校に不合格の時に限り、必ずその学校に入学するかどうかを担当の先生と確認してから「併願優遇願」を提出してもらいます。

※推薦、併願優遇の条件は、必ずしっかり確認してください。欠席日数、「1」不可、「2」不可、英語「4」以上、などの他、特別な徐健がある場合は必ず教えてください。



★入試相談（12月15日～）

推薦、併願優遇等のシステムを使う生徒の資料を私立高校に提出し、それぞれのシステムを使用できるか相談します。



受験方法の最終決定 調査書作成願の提出

最終的な受験校を決定し、担任の先生に報告するとともに、私立高校の調査書用紙を渡してください。冬休み中を目途に担任が作成します。



冬休み 出願方法の確認・準備・必要な書類の下書きなどを行ってください。



推薦入試 出願 1月15日～ 試験 1月22日～



一般入試 （第1志望、併願優遇を含む）出願 1月25日～ 試験 2月10日～

*学校によって、入試日は異なります。

*発表、手続きは、学校により異なりますが、早い学校では当日や翌日発表の学校もあります。受験する学校の募集要項をよく確認しておきましょう。

その他

1、高等専門学校、専修学校、各種学校、サポート校受験について

基本的には私立高校受験についての説明と同じと考えて下さい。ただし、学校によって入試日程や選抜方法が大きく異なるので、**募集要項で確認して下さい。**

- ① 高等専門学校は、合格すると都立高校を受検できない場合があります。募集要項で確認してください。募集要項や入学願書などは各自で取りに行きます。
- ② 専修学校は、私立の通信高校などとの技能連携をするなどして、高等学校の卒業資格が取れる学校（＝専修学校の他に普通高校の卒業資格も取れる又は大学受験資格も取れる。高等専修学校と呼ばれている。）であるか、そうでないかをしっかり調べましょう。
- ③ 各種学校やサポート校は、**都からの認可や公の指定**を受けている学校かどうかしっかり調べましょう。
また、「東京都私学財団」の制度が利用できるかどうか調べましょう。
- ④ どのような**免許・資格**が取れるか、**費用、卒業後の進路、施設・設備**など細心の注意を払い調べましょう。

2、就職の手順と準備

- ① 10月21日からの三者面談頃までに就職を希望するか決めてください。
- ② 求人票を配布します。これらの情報を基に職種、地域、定時制高校等への通学希望の有無等の希望をとります。（10月後半には準備が始まります）
- ③ 令和9年1月以降、各事業所で選考（入社試験など）を行います。

3、その他

- ① 都立用調査書に記載される内容は、都立受検の有無にかかわらず、全員の保護者宛に「調査書記載事項通知書」により通知します。（1月初旬頃の予定）
- ② 都立高校を受検する際、都立高校に理解してほしい事情を説明する必要がある場合、志願者は「自己申告書」を提出することができます。入学願書と一緒に提出をご希望場合には、担任までお願い致します。

資 料

●都立高校や私立高校 推薦・一般入試に関わる書類不備について（高校から）（参考）

下の項目は、過去の都立入試・私立入試で書類に不備があり、中学校に電話がかかってきた、もしくは中学校の職員が出向かなければならなかった、生徒が再度、出向いたなどの報告事例です。
生徒本人が、記入するときは以下の項目に保護者の方も十分注意して、確認を宜しくお願い致します。

願書の書類不備や出願の不備について

- ① 提出宛先の間違い又は未記入、未入力
- ② 出願区分の間違い又は未記入、未入力
- ③ 希望コース・科名の未記入、未入力
- ④ 提出日の未記入、未入力
- ⑤ 日付の年号間違い
- ⑥ 検査料領収書、顔写真を出願サイトでアップロードする際の不備
- ⑦ 消せるボールペンで記載されていた
- ⑧ 受検希望の高校を間違えて出願した
- ⑨ 再提出時に取り下げ履歴のない調査書が提出された
- ⑩ 定時制志願者が、全日制に出願した
- ⑪ 推薦書類の不足があった
- ⑫ フリガナや続柄の書き間違い
- ⑬ 願書の郵便番号、電話番号の未記入、未入力
- ⑭ 受検票を持ち帰らなかった
- ⑮ 受検票の検査会場名に記入があった
- ⑯ 書類が鉛筆書きであった
- ⑰ 願書と調査書、ESAT-J の漢字表記が異なっている
（例）桜井と櫻井 等

＊基本的に、インターネット利用の出願時での未入力、入力ミス、変換ミスが多いようです。
確認をしっかりと行ってください。

自己PRカードについて

- ① 自己PRカードの様式や日付が間違っていた。
- ② 自己PRカードの訂正に修正液や修正テープを使用した。
- ③ 自己PRカードに学校名の記載がなかった。
- ④ 自己PRカードが鉛筆で記入されていた。

●都立高校 検査内容・配点等の変更のある学校について（令和9年度入試）

（１）文化・スポーツ等特別推薦の実施校

- 全日制 向丘、上野、本所、城東、東、深川、大崎、八潮、目黒、大森、雪谷、千歳丘、深沢、広尾、鷺宮、豊多摩 武蔵丘、杉並、豊島、文京、板橋、大山、高島、石神井、練馬、光丘、足立、足立新田、足立西、淵江、葛飾野、南葛飾、江戸川、葛西南、小岩、篠崎、紅葉川、片倉、八王子北、富士森、松が谷、府中、府中西、府中東、小平西、小平南、日野、東村山西、福生、狛江、東大和、東大和南、清瀬、久留米西、武蔵村山、羽村、田無、保谷、東村山、墨田川、美原、飛鳥、板橋有徳、大泉桜、上水、拝島、小川、桜町、永山
- 専門学科 墨田工科、総合工科、杉並工科、荒川工科、府中工科、多摩工科、田無工科、芝商業、第四商業、八王子桑子、千早
- 総合学科 晴海総合、つばさ総合、世田谷総合、杉並総合、青梅総合、町田総合、東久留米総合、若葉総合、葛飾総合、王子総合

（２）分割募集の実施校（令和8年度から全日制・専門学科はなし）

- 定時制 一橋、浅草、荻窪、八王子拓真（一般枠）、砂川

（３）一次学力検査問題の自校作成実施校

- 全日制

第一次募集において、自校で作成した学力検査問題3教科（国語、数学、英語）と、都立高校共通問題2教科（社会、理科）により実施する。

日比谷、戸山、青山、西、八王子東、立川、国立、新宿、墨田川、国分寺

※国際高校では自校で作成した学力検査問題（英語）と、都立高校共通問題4教科により実施する。

- 定時制

第一次募集・分割前期募集において、自校で作成した学力検査問題3教科（国語、数学、英語）により実施する。

八王子拓真(一般枠)、農産

●自己PRカード見本

(様式12) (A4判)

受験番号	※	コース・科(分野)・部	受験番号	※	コース・科(分野)・部
文化・スポーツ等 特別推薦	※		一般推薦	※	
理数等 特別推薦	※		一般選抜	※	

自己PRカード

東京都立 _____ 高等学校長 殿

_____ 年 _____ 月 _____ 日

_____ 立 _____ 中 学 校

氏 名 _____

1 志望理由について

(この学校を志望した理由と入学してから自分が取り組みたいと思うことなどについて『本校の期待する生徒の姿』を参考にして記入しましょう。)

2 中学校生活の中で得たことについて

(中学校生活の中で自分が特に伝えたいことを学校内外で体験したことから選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入しましょう。)

3 高等学校卒業後の進路について

(将来の夢や目標、将来なりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入しましょう。)

- (注意) 1 志願者が手書き又は電子ファイルへの入力及び印刷により作成する。手書きにより作成する場合は、黒のペン又はボールペンで記入する。ただし、摩擦に伴う温度変化等により消色するインクを用いたペン又はボールペンは、使用しないこと。
 なお、コピー等鮮明な表記のものは認める。
- 2 推薦に基づく選抜を志望する者、学力検査に基づく選抜において面接を実施する都立高校を志願する者は、この自己PRカードを出願時に提出する。また、面接の対象となる者、一般の学力検査における引揚生徒の受検についての措置又は定時制成人受検者特別措置により受検する者についても、出願時に提出する。
- 3 ※欄は記入しないでください。

●志願申告書（チャレンジスクール）見本

チャレンジスクール用

受検番号

志 願 申 告 書

年 月 日

東京都立

高等学校長 殿

志願者氏名

保護者氏名 印

私が貴校を受検するに当たり、入学を希望する理由と特にPRしたいことは、次のとおりです。

1 入学を希望する理由

（この学校に入学したい理由について記入しましょう。）

2 将来の夢・希望

（将来の夢や希望について記入しましょう。）

3 高校生活への抱負

①教科の学習

(この学校で、教科の学習活動で特に力を入れたいことを具体的に記入しましょう。)

②教科以外での活動

(生徒会活動、学校行事、部活動など、教科以外での活動で特に力を入れたいことを具体的に記入しましょう。)

4 自己PR

(入学を希望するに当たって、自分が特にPRしたいことを記入しましょう。)

(注意) 上記1から4までについて、志願者が黒のペン又はボールペンで記入してください。ただし、摩擦に伴う温度変化等により消色するインクを用いたペン又はボールペンは、使用しないでください。

●文化・スポーツ等特別推薦書見本

(様式2) (A4判)

受検番号

文化・スポーツ等特別推薦書

年 月 日

東京都立_____高等学校長 殿

立

中学校長

公印

本校に在籍する下記の者を「文化・スポーツ等特別推薦」に推薦します。

記

氏 名

年 月 日生

志 望 す る 種 目 等	
志望するコース・科(分野)・部	コース・科(分野)・部

推 薦 理 由	
---------	--

- (注意) 1 「推薦理由」の欄は、志望校・志望学科等への適性、中学校における学習の状況、道徳、特別活動、校外における活動の状況等のうちから特に顕著なものに加え、志望する種目等に対する取組状況や意欲等についても併せて記入する。
- 2 一般推薦に同時に出願する者は、一般推薦書を併せて提出する。

●諸活動の記録記載事項希望申請書見本

諸活動の記録記載事項希望申請書について

(調査書記載事項希望申請書について)

■ 「調査書」の「諸活動の記録」について

中学校3年間の校内だけでなく校外での活動も含めて、次のことがらのいずれかにあてはまることがあれば、その内容を自己PRカードの「**中学校生活の中で得たこと**」の欄に書くことができます。その内容とその他にもPRしたい中学校での実績を右の表に記入してください。

- ① 積極的な態度や意欲をもって取り組めた活動
- ② あなたの人間形成上好ましい影響を与えている活動
- ③ 他の生徒に好ましい影響を与えている活動
- ④ あなたの中学校3年間における継続的な活動または各学年における特筆すべき活動

A 書かれた内容について

ここに書かれた内容については都立高校を受検する人については今後作成される「調査書」の「**諸活動の記録**」欄に記載されることになります。都立高校入試の場合、「調査書」の「**諸活動の記録**」や「総合的な学習の時間の内容及び評価」については、点数化されることはありません。しかし、都立の推薦入試では、面接の質問項目の資料や「自己PRカード」の内容を確認する資料として、また一般入試の場合でも、面接のある場合や特別選考を実施する学校で、推薦入試と同様の資料として扱われます。私立高校を受験する際にも、「調査書」の書式が多少異なりますが、「特別活動の記録」や「学習の所見」などに記載することになります。

B 書き方について

「諸活動の記録」は、事実を客観的な記録として記載するためのものです。「・・・をがんばった」や「・・・を真面目に取り組んだ」という表現は使いません。次ページの＜例＞を参考に、**活動の記録や事実**をできるだけ具体的に記入してください。（大会の成果を記入する場合は、主催者名、大会の正式名称、正しい結果を記入してください。）

C 資格や特技について

英検・漢検などの資格や特技についても記入をしてください。私立高校用調査書にも記載欄がありますので、資格の正式な名称、等級、取得年月を具体的に記入してください。

D 内容に順位をつける

都立高校用調査書の「諸活動の記録」欄は、書くスペースが限られています。そこで、「自己PRカード」に書く内容などから、自分なりに記載してほしい順番を考え順位をつけ、その順に記入してください。たくさんの活動内容がある人は、順位の高いものを優先して記載するようになります。

E 保護者の方と一緒に確認してもらう

この記載事項希望申請書に記入した内容については、必ず保護者の方に目を通して確認してもらうようにしてください。（保護者印を忘れずにもらうこと）

見本

諸活動の記録記載事項希望申請書

「調査書」「諸活動の記録」

〈記入例〉

内容	学年	順位
図書委員として「図書だより」の作成を担当。	3	1
高齢者福祉施設を定期的に訪問。	1～3	2
ソフトテニス部員として市大会新人戦で3位入賞。	1	3
合唱祭で自由曲の指揮者を担当。	2、3	4
* 実用英語技能検定3級を取得（取得：令和8年5月）。	3	5

* 「実用英語技能検定」「日本漢字能力検定」「実用数学技能検定」と正式名称で記入してください。

大会成果は正式な大会名を記入すること。

× 「吹奏楽コンクール」 ○ 「第66回東京都中学生吹奏楽コンクール」

内容	学年	順位
		1
		2
		3
		4
		5
		6
		7

（最大7つまで）

3年 組 番 生徒氏名

保護者氏名

印

提出期限 11月6日（金）厳守

●推薦願見本(私立)

見本

高等学校等推薦願（私立）

推

西東京市立ひばりが丘中学校

校長 辻 康 一 様

このたび、下記私立高等学校の推薦受験を希望いたします。つきましては、本人の学業面・生活面等をお考えの上、ご推薦くださいますよう、お願いいたします。

なお、推薦に当たっては下記の事項を必ず守ることをお約束いたします。

- 1 下記の学校を第一希望とし、必ず受験すること。
- 2 推薦受験の結果、合格した場合は必ずこの学校に入学し、他校の受験はしないこと。
- 3 合格後も現在の学力を維持できるように努力すること。
- 4 これからも生活全般において、推薦生徒としてひばりが丘中の推薦基準を順守し、卒業式を迎えること。
- 5 高等学校入学後も推薦生徒として、学習及び生活の向上に努力すること。

万一、これらの事項が守れない場合は、推薦取り消しの判断を受諾いたします。

令和 8 年 ____ 月 ____ 日

3 年 ____ 組 ____ 番 生徒氏名 _____

保護者氏名 _____ 印

《推薦受験希望校》

学校名

学科・コース名

受験日

年 月 日

提出期限：三者面談翌日

●併願優遇受験願見本

見本

併願優遇受験願

併

西東京市立ひばりが丘中学校
校長 辻 康 一 様

このたび、下記私立高等学校の併願優遇制度を活用した受験を希望いたします。つきましては、本人の学業面・生活面等をお考えの上、手続きを進めていただきたくお願いいたします。

なお、併願優遇受験に当たっては下記の事項を確認しました。

第一志望に合格しなかった場合は、併願優遇を申し込んだ高校に入学する。
(都立は、一次・分割前期入試の結果で確定する)

万一、これらの約束が守れない場合は、手続き取り消しの判断を受諾いたします。

令和 8 年 ____ 月 ____ 日

3 年 ____ 組 ____ 番 生徒氏名 _____

保護者氏名 _____ 印

保護者氏名 _____ 印

《併願優遇受験希望校》

学校名

学科・コース名

受験日 年 月 日

提出期限：三者面談翌日

●推薦願(都立)見本

見本

高等学校等推薦願（都立）

都

西東京市立ひばりが丘中学校

校長 辻 康 一 様

このたび、下記都立高等学校の推薦受験を希望いたします。つきましては、本人の学業面・生活面等をお考えの上、ご推薦くださいますよう、お願いいたします。

なお、推薦に当たっては下記の事項を必ず守ることをお約束いたします。

- 1 下記の学校を第一希望とし、必ず受験すること。
- 2 推薦受験の結果、合格した場合は必ずこの学校に入学し、他校の受験はしないこと。
- 3 合格後も現在の学力を維持できるように努力すること。
- 4 これからも生活全般において、**推薦生徒としてひばりが丘中の推薦基準を順守し、卒業式を迎えること。**
- 5 高等学校入学後も推薦生徒として、合格した都立高等学校の「本校の期待する生徒の姿」の内容を目標にして努力すること。

万一、これらの約束が守れない場合は、推薦取り消しの判断を受諾いたします。

令和8年____月____日

3年____組____番 生徒氏名_____

保護者氏名_____ 印

《推薦受験希望校》

学校名

学科・コース名

受験日 年 月 日

提出期限：三者面談翌日

調査書等作成依頼書 (調査書作成願)

令和8年____月____日

西東京市立ひばりが丘中学校
校長 辻 康 一 様

下記の志願先に出願したく、調査書等の作成をお願いいたします。

3年____組____番 生徒氏名_____

保護者氏名_____ 印

【公立学校】

【印は朱肉を使用したものでお願いします。】

志望 順	受験 形態	出 願 校	科・コース	出 願 日	受験日	発表日	調査書	推薦書
			科 コース	月 日 ～ 月 日	月 日	月 日	公立用	有 無
			科 コース	月 日 ～ 月 日	月 日	月 日	公立用	有 無
			科 コース	月 日 ～ 月 日	月 日	月 日	公立用	有 無

【私立学校等】

志望 順	受験 形態	出 願 校	科・コース	出願 方法	出 願 日	受験日	発表日	手続き日	調査書	推薦 書
			科 コース		月 日 から 月 日	月 日	月 日	月 日 日まで 延納 (可・不可)	公立用 私統一 指定	有 無
			科 コース		月 日 から 月 日	月 日	月 日	月 日 日まで 延納 (可・不可)	公立用 私統一 指定	有 無
			科 コース		月 日 から 月 日	月 日	月 日	月 日 日まで 延納 (可・不可)	公立用 私統一 指定	有 無
			科 コース		月 日 から 月 日	月 日	月 日	月 日 日まで 延納 (可・不可)	公立用 私統一 指定	有 無
			科 コース		月 日 から 月 日	月 日	月 日	月 日 日まで 延納 (可・不可)	公立用 私統一 指定	有 無
			科 コース		月 日 から 月 日	月 日	月 日	月 日 日まで 延納 (可・不可)	公立用 私統一 指定	有 無

提出期限：令和8年12月7日(月)